

10 ストレス外来における初診患者の受診状況 (平成 20 年版)

金安 亨太¹⁾・慶野鉄太郎²⁾
岡田奈緒子³⁾・山田 治⁴⁾・内田 訓⁵⁾
鈴木 康一³⁾・松田ひろし⁶⁾

立川メディカルセンター悠遊
健康村病院¹⁾
帝京大学医学部付属病院²⁾
立川メディカルセンター立川
総合病院³⁾
医療法人京友会京友会病院⁴⁾
富士心身リハビリテーション
研究所付属病院⁵⁾
立川メディカルセンター柏崎
厚生病院⁶⁾

立川総合病院ストレス外来での診療動向について、これまでも当研究会において発表してきている。今回も平成 20 年における初診患者の動向についてご報告したい。

【方法】初回診察時における受診状況を前年までの状況と比較しながらまとめる。

【対象】2008 年 1 月～12 月と、2001 年～2007 年の初診患者の動向を比較する。

2006 年まで、当科の初診患者数はおおむね右肩あがりに増加してきた(2001 年 389 人→2006 年 594 人)。しかし、2007 年には男女合わせて前年から 54 人減少し(2006 年 594 人→2007 年 540 人)、2008 年にはさらに 89 人の減少が見られた(2007 年 540 人→2008 年 451 人)。

外来診療枠の減少などの、当外来を取り巻く状況に明らかな減少理由は見当たらない。それにも関わらず、日常診療の中で感じられるほどの初診

患者数の変化が起こっている。

今後も継続的に減少し続けていくのか、それとも何かしらの均衡がとれ、次第に落ち着いていくのか。2 年続けての減少で、その幅も増加していることから、今後もこの傾向は続くのではないかと思われ、どのような原因が考えられるか検討する必要性が感じられた。

当日は当科を受診した初診患者について、受診経路や受診動機などを中心にその特徴を述べたいと思う。

11 3 分診療を効あるものとするために

東島 啓二

田宮病院

ご承知のごとく 3 分診療とは[3 時間待って診療は 3 分]と医療状況を揶揄する言葉である。我々もこの様な状況が決して良いとは思わないが、我々が働く現場はまさに、以前から今日までこの様な状況であった。現実を変えられない。従ってこの様な状況の中で如何に効果を上げていか腐心せざるを得ない。私が行っているささやかな工夫を述べてみたい。

II. 特別講演

職場のメンタルヘルス～社会復帰の How to ～

京都文教大学臨床心理学部 教授
神田東クリニック 院長

島 悟